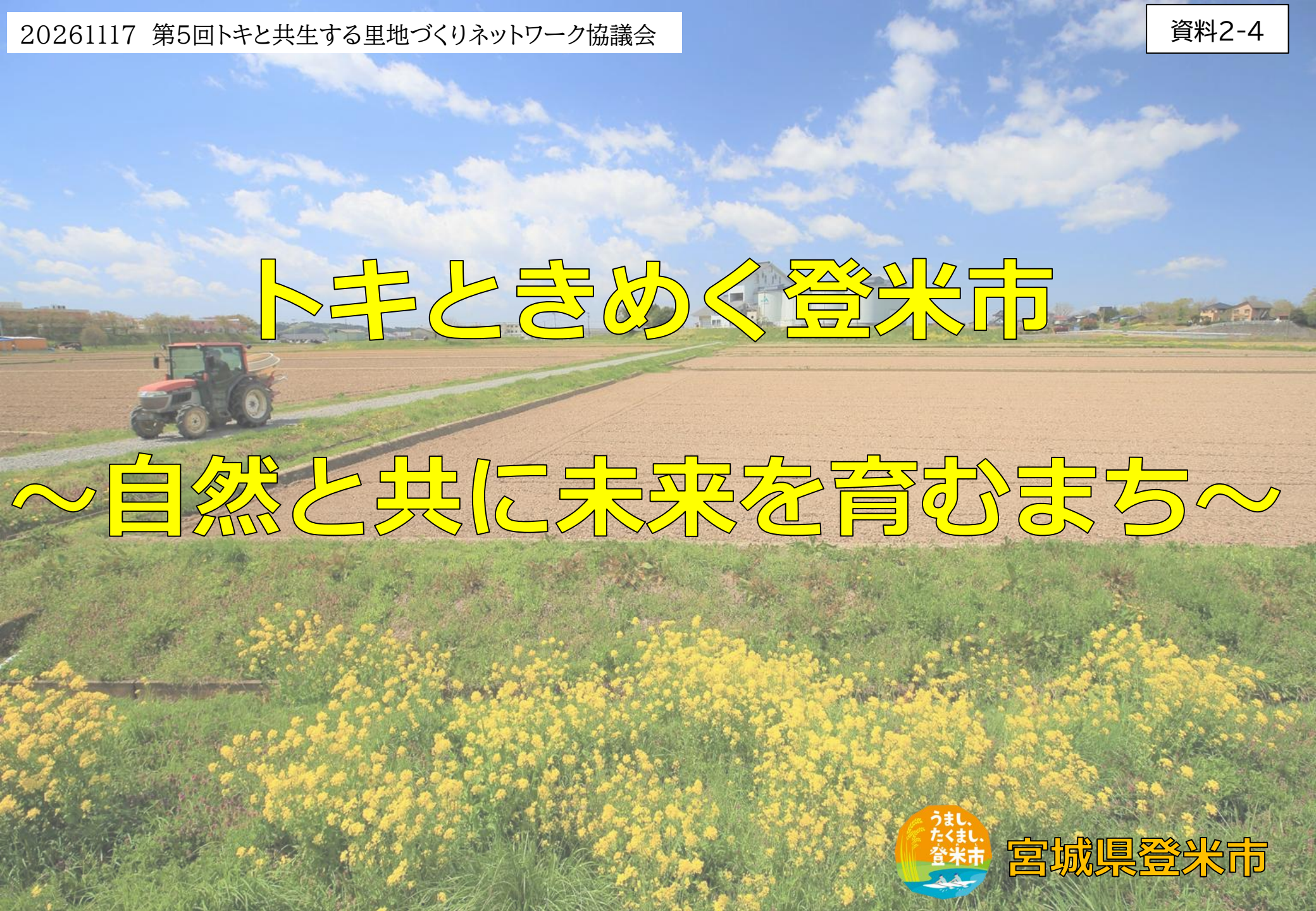
資料2-4



トキときめく登米市

～自然と共に未来を育むまち～

うまし、たくまし、登米市

宮城県登米市

資料2-4

登米市
City of Tome

宮城県登米市



- 県内有数の穀倉地帯であり、
  宮城米「ひとめぼれ、ササニシキ」の主産地
  環境保全米の生産量は県内随一

- 白鳥、ガンなどが飛来するラムサール条約登
  録湿地の「伊豆沼・内沼」や、東北最大の流域面積を
  誇る「北上川」など、多くの水資源に囲まれた水の里







資料2-4

登米市
City of Tome

登米市の農業～環境に配慮した活動～

【環境保全型農業】

地域全体（約７割）で減農薬、減化学肥料に取り組む「環境保全米」（特別栽培米）の米づくりを実践（県全体では約３割を占める）。これを実現した**環境保全米発祥の地**です。

本市の農業は人間と多様な動植物の共存する豊かな環境の中で営まれており、地域の環境の保全にも貢献することを目指しています。



【資源循環型農業】

７つの「たい肥センター」で有機質肥料を製造。稲作農家と畜産農家が連携した資源循環型農業が行われています。

和牛生産本州一という畜産も盛んな地域であり、**耕畜連携による資源循環型農業の先進地**です。



資料2-4

登米市
City of Tome

環境保全米の作付

登米市は、2050年までに二酸化炭素排出量の実質ゼロを目指す
「ゼロカーボンシティ」を表明し、カーボンニュートラルの実現を目指しています。

豊かな水と緑に恵まれた本市は、
人と生き物、環境との調和を重視した持続可能な農業を推進しています。



令和４年には、環境省の**「トキと共生する里地づくり取組地域」に指定**

有機農業の取組面積 **152ha**（水稲141ha 野菜等 11ha）

県内**１位**	東北**２位**・全国**９位**
（県内２位は美里町100ha）	（東北・全国１位は秋田県大潟村 266ha）



令和６年度環境保全型農業直接支払交付金実績より

～ オーガニックビレッジを推進しています ～

令和６年12月に**宮城県内初となるオーガニックビレッジを宣言**しました。
本市農業の強みである環境保全型農業の次のステップとして、有機農業の生産から消費まで一貫し、農業者のみならず事業者や地域内外の住民を巻き込んだ地域ぐるみで取り組む**オーガニックビレッジ**の推進により、生産力の向上と持続性が両立した登米市農業の発展を目指しています。





学校給食への有機米の提供

有機JAS認証取得支援



有機農産物のPR・販路開拓

資料2-4

登米市
City of Tome

前年度の取り組み





おらいのトキを目指す登米市
～トキと田んぼ、そしていぐねで子育て～シンポジウム



①基調講演 「トキが喜ぶ農業で人との共生、地域づくり推進」
（有）齋藤農園　代表取締役　齋藤 真一郎　氏
②事例報告 「生き物のにぎわう有機農業といぐねでおらいにトキを呼ぶ」
（有）板倉農産　取締役社長　阿部 善文　氏
③パネルディスカッション 「トキと田んぼ、そしていぐねで子育てめざして」

登米市
City of Tome

資料2-4

今年度（令和８年度）の取り組み

東北地方令和の名水づくり
・里海づくり地域支援事業

【対象】

・平筒沼

【目的】

・地域の魅力、資源の創出

・沼の水環境の保全

【関係団体】

日本雁を保護する会、（株）エックス都市研究所、東北地方環境事務所、（一社）登米市観光物産協会、登米市



資料2-4

ご清聴ありがとうございました。



うまし、たくまし、登米市

宮城県登米市